

HI-LEX

リモートコントロールボックス

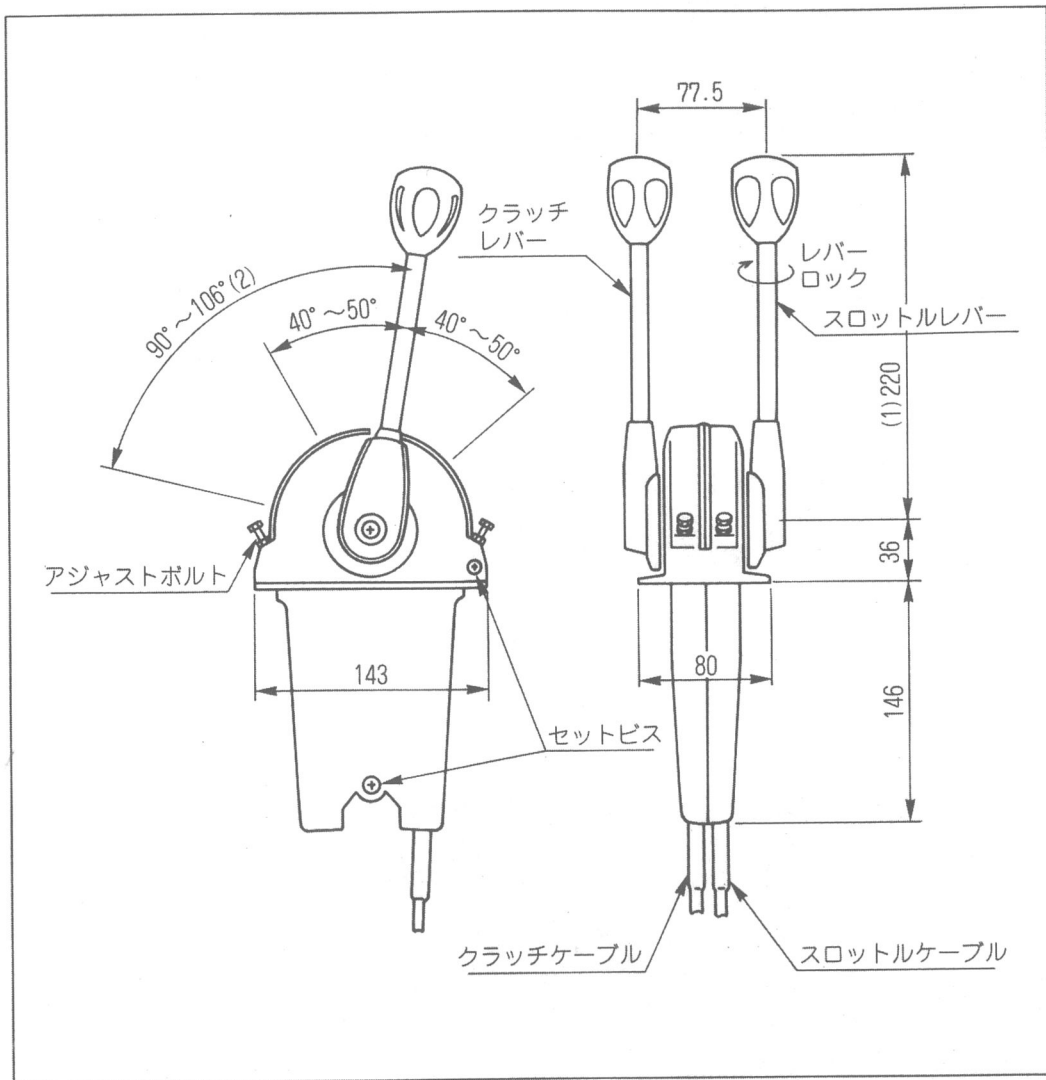
設置仕様書

MVT500系

2レバーコントロール



株式会社ハイレックスコーポレーション



●クラッチ操作能力

ストロークF(前進) 30~36mm
R(後進) 30~36mm

操作方法 押し又は引き

負荷荷重 最大15kgf

●スロットル操作能力

ストロークF(前進) 65~75mm⁽³⁾
R(後進) 65~75mm

操作方法 押し又は引き

負荷荷重 最大15kgf

操作レバーロック荷重 20kgf以上⁽⁴⁾

製品重量 2.8kg⁽⁵⁾

使用ケーブル HI-LEX C43

(1)MVT526.....200

(2)MVT520, 529, 530, 550, 551, 552

..... $60^{\circ} \sim 85^{\circ}$

(3)MVT520, 529, 530, 550, 551, 552

.....48mm~60.5mm

(4)MVT540, 541, 543, 544, 545...30kgf以上

(5)MVT512, 513, 514, 515, 523, 541,

542, 545, 546, 560.....2.1kg

■ 特 長

- MVTリモートコントロールボックスは、クラッチとスロットルをそれぞれ別のハンドルで操作し、機関をコントロールする事で船の前後進及び増減速が行えるようになっております。
- ストロークアジャストボルトを調整する事により、ストロークの微調整ができます。
- 小型軽量です。
- 操作ノブを右に回すとブレーキがかかり、レバーが自然に戻るのを防止し一定速度で航行することができます。
- 構造が簡単で強固です。

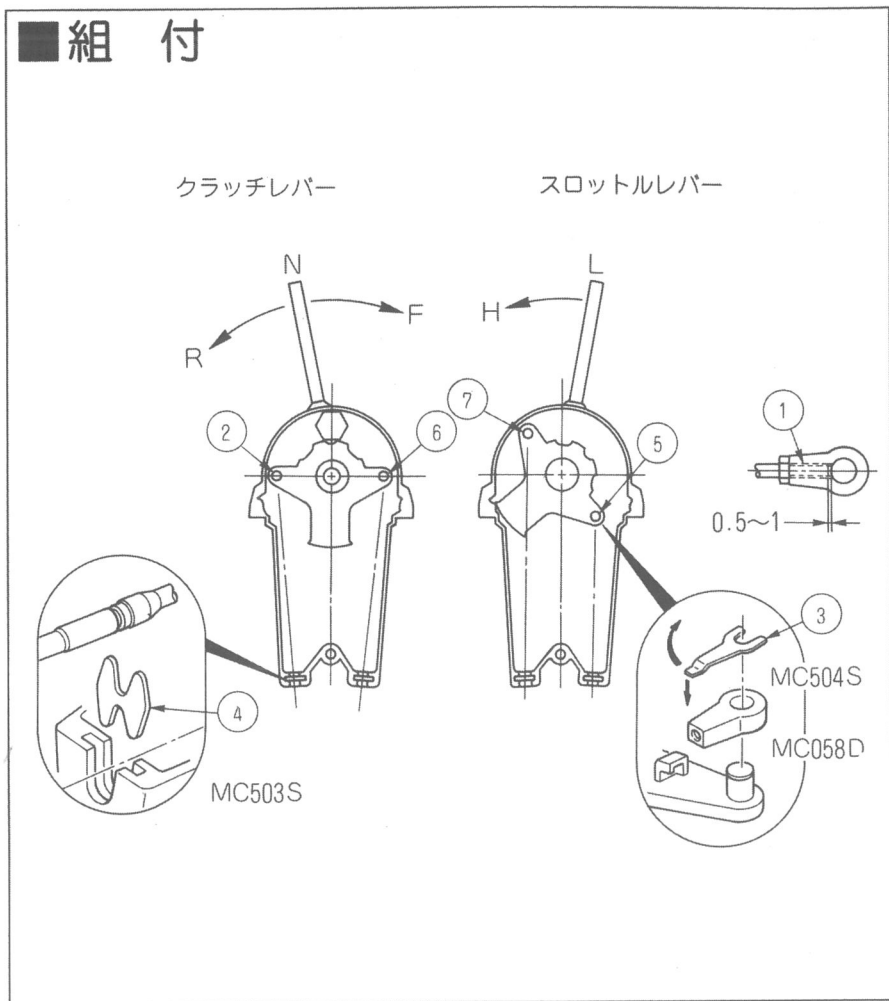
■ 使用前の注意事項

- 御使用になるエンジンとボックスの性能(ストローク、作動方向、負荷荷重)が適合しているかどうかをお確かめ下さい。
- ケーブルの長さが適当であるかどうかを確認して下さい。

■ 組付および取付作業上の注意

- ケーブルの組付、配索およびエンジンとケーブルの取付時には、リモコンボックスのレバーがニュートラル位置及びアイドル位置にある時にケーブルに押し、又は引きの力がかからないように調整して下さい。
- ケーブルは少し長めのものを使用して下さい。短いケーブルでのムリな配索はレバー操作力を増加させるばかりでなく、ケーブルの耐久性に悪影響をあたえます。

■組付



- リモコンボックスの取付場所が決まりましたら、エンジンのクラッチ・スロットルの作動方向に合せ、作動板のケーブル取付位置を決めます。

● ケーブル取付位置の決め方

クラッチ⑥の位置 プッシュ ツーゴーフォワード

②の位置 プル ツーゴーフォワード

スロットル⑦の位置 プッシュ ツーオープンスロットル

⑤の位置 プル ツーオープンスロットル

- ケーブルはリモコンボックスをダッシュボードから真っ直ぐに引き出せる長さにして下さい。

● 組付作業

(1)ハウジングカバーのセットビスを外しますと左図のようになります。

(2)クラッチ・スロットルケーブルのケーブルロッド先端にあるネジ部へ①のアイエンドをネジ込みナットで固定します。

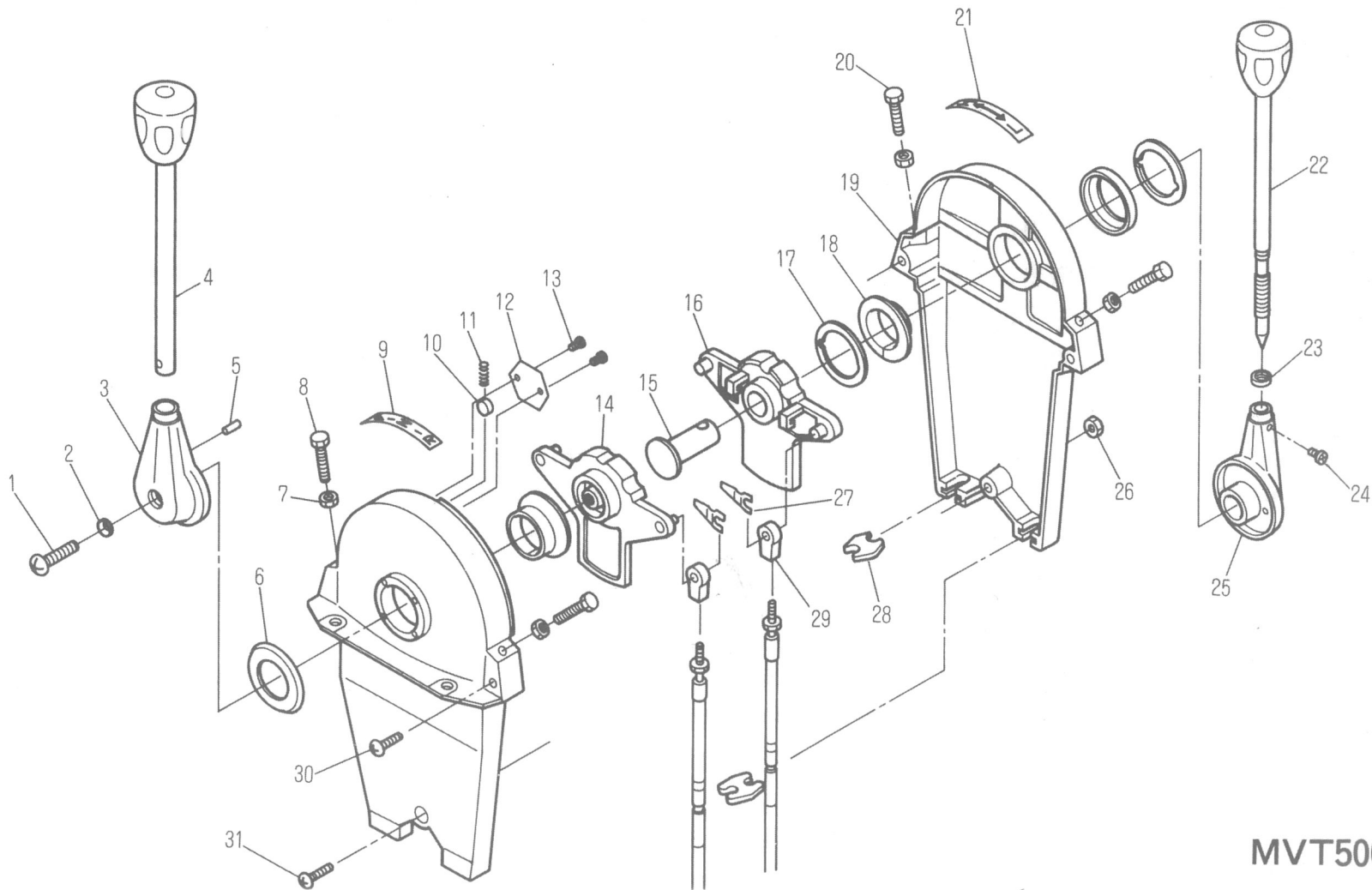
- (3)クラッチケーブルの先端に取付けた①のアイエンドを②の作動板にさし込み③のセットプレートで取付けて下さい。
尚、セットプレート③を下に曲げ過ぎないように注意して下さい。
- (4)ハウジングのケーブル組付溝にある凹部にステンレスプレート④とケーブルを嵌合してはめ込みます。
- (5)同様にスロットルケーブルも⑤の作動板に組付けます。
- (6)ハウジングを3本のビスで固定して完了です。

●ケーブルの配索

- (1)ケーブルは必ず半径200mm以上の曲りをもたせて配索して下さい。
- (2)ケーブルの中間で固定する時は、ゆるく止める程度にして下さい。完全に固定するとケーブルの摩擦が大きくなり、レバー操作が重くなります。
- (3)ケーブルは絶対に折り曲げないで下さい。

●エンジンとケーブルのつなぎ方

- (1)スロットルケーブルをエンジンに組付けた時、リモコンボックスのレバーがアイドル位置の時に、ケーブルに押し又は引きの力が加からないように調整して下さい。エンジン側とのストローク調整はアジャストボルトで行なって下さい。
- (2)クラッチケーブルは、エンジン及びリモコンボックスのニュートラル位置(N)を基準としてエンジンのクラッチ作動レバーを前進位置・後進位置に動かし、リモコンボックスのレバーも前後進に動かしてケーブル先端の組付部中心とエンジンのクラッチ作動レバーにあるケーブル取付部中心が同一位置に来る事を確め、ニュートラル位置で完全にクラッチが切れるよう調整して組付けて下さい。その後、前後進のストロークの調整を、アジャストボルトにて設定して下さい。
- (3)ケーブル先端の振角は中心から8°以内の回転範囲で作動するようにエンジン側に組付けて下さい。



MVT500

No.	旧品番	新品番	名 称	個 数
1	MC916S	BM30018S	小ねじ	1
2	MC507R	BJ00029R	フリクションリング	1
3	AM610D	BL10004D	レバーボス	1
4	MC516O	BL20030O	クラッチレバー	1
5	AM929S	BP80004S	スプリングピン	1
6	MC514P	BJ00031P	スラストプレート	2
7	CM922S	BM40009S	ナット	4
8	MC920S	BM00014S	六角ボルト	3
9	AM258A	BY00003A	シール	1
10	MC505S	BP00005S	ローラ	1
11	MC518F	BV00010F	スプリング	1
12	MC508S	BT10030S	ノッチカバー	1
13	DM907S	BM30013S	タッピンねじ	2
14	MC001O	BA10013E	コントロールアームA	1
15	MC506F	BN10012F	ロックピン	1
16	MC002O	BA10014E	コントロールアームB	1
17	MC509S	BN00004S	ブレーキプレート	2
18	MC511P	BJ00030P	ブッシュ	2
19	MC517D	BC40018D	ハウジング	2
20	MC921S	BM00015S	六角ボルト	1
21	AM559A	BY00016A	シール	1
22	MC515O	BL20029O	ロックレバー	1
23	MC501R	BJ00028R	防水リング	1
24	MC919S	BM10034S	小ねじ	1
25	MC502D	BL10009D	レバーボス	1
26	MC135S	BM40015S	ナット	1
27	MC504S	BT10029S	セットプレート	2
28	MC503S	BT10028S	クランプ	2
29	MC058D	BE00008D	アイエンド	2
30	MC918S	BM10033S	小ねじ	2
31	MC915S	BM30017S	小ねじ	1

新旧品番対比表

旧品番	新品番
MVT512	IPB0103
MVT513	IPB0104
MVT514	IPB0105
MVT515	IPB0106
MVT520	IYB0111
MVT523	IPB0112
MVT526	IPB0114
MVT529	IYB0117
MVT530	IYB0118
MVT540	IWB0122
MVT541	IWB0123
MVT542	IPB0124
MVT543	IPB0125
MVT544	IWB0126
MVT545	IPB0127
MVT546	IPB0128
MVT550	IYB0130
MVT551	IYB0131
MVT552	IYB0132
MVT560	IWB0134

※本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。